

競 技 ・ 審 判 上 の 注 意

- (1) 今大会は現行の〔公材〕日本バドミントン協会競技規則・同運営規定及び同審判規定に準じて行なわれる。
- (2) 本部の指示あるまではコート内での練習は認めない。
- (3) 会場担当校は本部の指示がある場合、主審、ラインズマン、また、必要に応じて得点表示係を出すこと。
- (4) 競技開始の指示があつてから3分間以内にコートへ入らない場合は失格とする。
- (5) 主審は特にサーバー及びレシーバーにおける「フォルト」について判定しコールする。
ただし、競技規則に係る訴えに限り、主審が判断できないものは、競技役員長（レフェリー）に確認する。サービスジャッジについては主審と競技役員長（レフェリー）が協議して、必要があると認めた場合に限り任命する。
- (6) ラインズマンは担当ラインについてシャトルが「イン」か「アウト」を判定する。
- (7) 試合中に審判上のことでトラブルが生じたときは、速やかに競技役員長（レフェリー）に報告を行い、その指示に基づいて行動する。
- (8) ゲーム途中（11ポイント）に60秒・各ゲーム間に120秒を超えないインターバルを認める。なお、インターバル時に指定区域内でアドバイスをうけることはかまわないが、コーチは2名までとする。
- (9) 試合中のけがや病気の手当や処置について、コートに入ることを許されるのは、必要と認められる医療補助員と競技役員長（レフェリー）及び競技審判正副部長だけである。
- (10) 試合中における水分の補給は、倒れてもこぼれないキャップのついたものとする。スクイズボトルが望ましい。
※クーラーボックスのフロア持ち込みは禁止する。
※氷嚢の使用はインターバル中のみとし、使用後は保冷バッグに入れること。
- (11) 背中に県名、校名のゼッケンを着用すること。
- (12) 監督・コーチ・マネージャーは、品位ある服装でベンチに入ること。
※ Tシャツ・ハーフパンツは、厳禁。（但し、日本バドミントン協会検定品は許可）
- (13) その他、開始式のときの注意を守ること。

【 個人戦の簡易ゲームについて 】

- ※ 個人戦についてはベスト32決定までを簡易ゲームとし、ベスト16決めからは 正規ルールとする。
但し、ゲームの進行状況により変更する場合がある。
- ・簡易ゲームのポイント 15点3ゲーム（2ゲーム先取）
 - ・ファイトゲームの場合、どちらかの選手が8点を先取した時に、チェンジエンスを行う。
 - ・延長ゲーム、ゲーム中のインターバルは行わない。
但し、ゲーム間に60秒を超えないインターバルを認める。

【 学校対抗戦の注意 】

- (1) オーダー用紙は指示があつたら、正副2部を速やかに提出すること。
- (2) エントリーメンバー変更は、大会当日の監督会議終了後まで認める。
- (3) 進行は、試合番号順を基本とした、流し込み方式で行う。
- (4) ベンチに入れる者はメンバー表に提出されている監督・コーチ・マネージャー・選手のみとする。
- (5) 試合順序は、第1複（D1）、第2複（D2）、第1単（S1）、第2単（S2）、第3単（S3）の順で実施する。なお、S1は複を兼ねることはできない。
- (6) 試合はすべて先取マッチ方式で行う。

【 会場使用上の注意 】

- (1) シューズは内外の区別をしっかりとすること。
- (2) アリーナでの飲食は禁止とする。（飲食については開始式での指示に従うこと）
- (3) ゴミは必ず各学校で持ち帰る。
- (4) 貴重品の管理は各自責任を持つこと
- (5) 体育館使用のマナーに気を配ること。
- (6) 開始式のときの注意を守ること。（違反した場合はその学校を棄権扱いにする。）